



1996年12月2-5日: 1st International Workshop on the Cultivation & Biotechnology of Marine Algae: AN ALTERNATIVE FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT IN VENEZUELA, LATINAMERICA AND THE CARIBBEAN CUMANA, VENEZUELA. 連絡先: Raul E. Rincones L., Cultivos y Biotecnologia Marina BIOTECMAR, P.O. Box 267, Cumana 6101-A Sucre VENEZUELA, Phone: local (093) 51.54.85 Fax: (093) 51.64.77 international +58 93 51.64.77, e-mail rrincone@cumana.sucre.udo.edu.ve

1997年1月2-5日: 英国藻類学会冬期集会 Ecotoxicology, Size and shape, Photosynthesis and light のセッションを予定  
http://www.dundee.ac.uk/~amjohnst/phyco.htm

1997年1月22-24日: ASPAB: Australasian Society for Phycology and Aquatic Botany, 13th Annual Conference, CSIRO Marine Laboratories, Hobart, Tasmania, Australia  
Malcolm Brown, Senior Research Scientist, CSIRO Division of Fisheries, GPO Box 1538, Hobart, Tasmania 7001, Australia, tel: +61 362 325222 (switchboard), +61 362 325308 (direct), fax: +61 362 325000, e-mail: Malcolm.Brown@ml.csiro.au

1997年1月25日: シンポジウム「藻類の多様性研究とハーバリウム, エキシカータ」, 神戸大学六甲台文理農キャンパス内 滝川記念会館(本号に案内あり)

1997年3月23日-24日: アジア地域の微生物研究ネットワークに関するシンポジウム—微細藻類の生理活性物質, 毒性, 多様性, 系統分類及び系統保存— Symposium on Asian Network on Microbial Researches—Physiological Potency, Toxicology, Diversity, Systematics and Culture collection of Microalgae -, 渡辺 信, 茨城県つくば市小野川16-2 国立環境研究所生物(本号に案内あり)

1997年3月26-28日: 日本藻類学会第21回大会, 広島大学, 連絡先: 中野武登, Tel. 0824-24-7452, Fax: 0824-24-7452, e-mail: tnakano@alpha01.sci.hiroshima-u.ac.jp (本号に案内あり)

1997年3月29-31日 第3回 藻類学 春のワークショップ, 神戸大学 内海域機能教育研究センター, (本号に案内あり)

1997年5月21-23日: 7th East Coast Protistology Conference, University of Rhode Island, USA 連絡先 Dr. Linda Hufnagel, tel: +1 401 874 5918, email: aun103@uriacc.uri.edu

1997年6月9-13日: Applications of Micropaleontology in Environmental Sciences: 1st International Conference The Porter Super-Center for Ecological and Environmental Studies and Institute for Nature Conservation Research Tel Aviv University, Tel Aviv, Israel. 連絡先: Prof. Valentina Yanko, Conference Secretariat, Institute for Nature Conservation Research, Tel Aviv University, Ramat Aviv Tel Aviv, Israel 69978, fax: 972 3 640 7304

1997年6月25-29日: 第8回有毒藻類国際会議 VIII International Conference on Harmful Algae, Vigo, Spain Beatriz Reguera. Conference Coordinator. VIII International Conference on Harmful Algae, Instituto Espanol de Oceanografia, Apto 1552. 36280 Vigo. Spain.

1997年5月7-10日: 第2回アジア-パシフィックマリンバイオテクノロジー会議および第3回アジア-パシフィックアルガルバイオテクノロジー会議, The Second Asia-Pacific Marine Biotechnology (APMBC'97) / The Third Asia-Pacific Conference on Algal Biotechnology (APCAB'97), Phuket, Thailand. (2号に案内)

1997年7月21-25日: 10th International Congress of Protozoology (ICOP-10) University of Sydney, Australia. Professor D.J. Patterson, School of Biological Sciences, Zoology A08, University of Sydney, Sydney, NSW 2006, Australia. tel: (61) 2 351 2438, fax: (61) 2 351 4119, email: paddy@extro.ucc.su.oz.au

1997年8月10-16日: 第6回国際藻類学会議 6th International Phycological Congress Leiden, The Netherlands (43巻1号)

1997年9月22-29日: International Marine Biotechnology Conference, Sorrento, Paestum, Capo Rizzuto, Otranto, Pugnoli - Italy.

Topics: 1. Marine Organisms as Biological Models in Marine Biotechnology, 2. Natural and Cultural Marine Resources in Marine Biotechnology, 3. Marine Biotechnologic Interactions, 4. Social-Economic and Regulatory Aspects of Marine Biotechnology. 連絡先: IMBC '97, Attn. Ms. Dpmatella Capone, Stazione Zoologica 'Anton Dohrn', Villa Comunale 1-80121 Naples, Italy, Tel. +39 - (0) 81-5833215, Fax. +39 - (0) 81-7641355, e-mail imbc@alpha.szn.it

アジア地域の微生物研究ネットワークに関するシンポジウム  
 —微細藻類の生理活性物質、毒性、多様性、系統分類及び系統保存—  
 Symposium on Asian Network on Microbial Researches  
 - Physiological Potency, Toxicology, Diversity, Systematics and Culture  
 collection of Microalgae -

#### 1. 目的

微細藻類は酸素発生型の光合成を行う微生物で、水界生態系の第一次生産者として、農水産業や工業に利用されている反面、赤潮やアオコのように水汚染に深く関連し、人間生活に著しい影響を与えている。特に、アジア地域では微細藻類の利用あるいは微細藻類による環境汚染問題解決に対するニーズは非常に高い。また、アジアには多種多様な微細藻類が生息していると推定され、生物地理学上日本の微細藻類多様性と密接に関連している。

本シンポジウムは、アジア地域における微細藻類研究の一層の進展のための基盤を構築することを目的として、微細藻類に関する基礎及び利用研究が活発に行われている日本、タイ、シンガポール、中国の研究者により、微細藻類の新機能、新生理活性物質、毒性、多様性、系統分類及び系統保存に関するシンポジウムを開催する。

2. 日時：1997年3月23日（日）、24日（月）

3. 場所：茨城県土浦市港町3-30-23 サンレイク土浦（公立学校共催組合）

#### 4. シンポジウム概要

23日：9:30-17:00

開会の挨拶

プロジェクト"アジア地域の微生物研究ネットワーク"の説明

セッション1：微細藻類の生理活性物質と毒性

セッション2：微細藻類の多様性と分類

18:00-懇親会

24日：9:00-17:00

セッション3：微細藻類の多様性と分類

セッション4：微細藻類の系統保存とデータベース

25日：エクスカージョン "Tokyo"

5. シンポジウム講演者（予定）：日本15名、タイ5名、シンガポール1名、中国5名

6. シンポジウム参加：参加料：無料、懇親会費：4000円、エクスカージョン費：10,000円

参加希望者は所属、氏名、住所、電話及びFAX番号、e-mailアドレスを記入の上、下記宛申し込んで下さい。懇親会及びエクスカージョン参加希望者はその旨を記述してください。経費の支払い方法は後日、連絡いたします。

渡辺 信 茨城県つくば市小野川16-2 国立環境研究所生物

(TEL: 0298-50-2555, FAX: 0298-50-2587, e-mail: mmw@nies.go.jp)

#### 7. シンポジウム報告

国際学術誌（現在のところ、日本藻類学会国際誌 *Phycological Research* の特集号として報告する方向で検討中）で報告。ただし、審査後受理されたものに限る。

#### 8. シンポジウム運営

共催 国立環境研究所、理化学研究所、日本藻類学会、

後援 日本微生物資源学会

#### 9. シンポジウムのオーガナイザー

渡辺 信 茨城県つくば市小野川16-2 国立環境研究所生物

TEL: 0298-50-2555, FAX: 0298-50-2587, e-mail: mmw@nies.go.jp

渡谷邦光 茨城県つくば市小野川16-2 国立環境研究所化学

TEL: 0298-50-2428, FAX: 0298-50-2574, e-mail: kayakuni@nies.go.jp

## シンポジウム「藻類の多様性研究とハーバリウム、エキシカータ」

瀬戸内海海藻標本集（エキシカータ）の刊行を記念して、藻類、特に海藻類の多様性研究とこれらの研究におけるハーバリウム（標本室）・エキシカータ（標本集）の意義をテーマとしたシンポジウムを開催します。講演は日本語または英語でおこなわれますが、英語での講演に関しては講演要旨の和訳を配布します。参加費は無料で、事前の申し込みは不要です。多数のご参加をお待ちしております。

### 講演題目と演者（仮題、敬称略）

- 「藻類の多様性研究とハーバリウム」吉田忠生（北海道大学理学研究科生物科学）
- 「マングローブ地帯における藻類の多様性」Robert J. King（オーストラリア・サウスウェールズ大生物科学部）
- 「分子系統から見た藻類の多様性」Jeanine Olsen and Wytze Stam（オランダ・グローニンゲン大海洋科学）
- 「韓国周辺の高藻相の特性」In Kyu Lee（韓国・ソウル大学自然科学）
- 「瀬戸内海の藻類相とエキシカータ」榎本幸人（神戸大学内海域機能教育研究センター）

日時：1997年1月25日（土）10:00-16:00

場所：神戸大学六甲台文理農キャンパス内 滝川記念会館

神戸市灘区六甲台町1-1（JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅より神戸市バス16系統「鶴甲団地」行き神戸大学文理農学部前下車、または徒歩で「六甲道」駅より約20分、阪急「六甲」駅より約10分）

問い合わせ：〒656-24 津名郡淡路町岩屋2746 神戸大学内海域機能教育研究センター

Phone: 0799-72-2374, Fax: 0799-72-2950, Email: kawai@icluna.kobe-u.ac.jp

## 第3回 藻類学 春のワークショップのお知らせ

藻類を対象として研究を行っている学部・大学院学生を対象に以下のワークショップをおこないます。

テーマ：「大型藻類の分類、実験材料としての利用のための基礎技術」

期 日：1997年3月29日午前-31日夕（2泊3日）。希望者は28日、31日も内海域センターに宿泊することも可能。

講 師：川井浩史（かわいひろし、神戸大学内海域機能教育研究センター）

奥田一雄（おくだかずお、高知大学理学部生物学科）

峯一朗（みねいちろう、高知大学理学部生物学科）

神谷充伸（かみやみつお、神戸大学内海域機能教育研究センター）

内 容：紅藻・褐藻・緑藻などの大型藻類の分類学的研究を行う際、またこれらの藻類をさまざまな研究における実験材料として利用しようとする際に必要となる、分類学・組織学の基礎知識と、さまざまな光学顕微鏡による観察・測定（明・暗視野顕微鏡、蛍光顕微鏡、顕微測光、写真撮影）、培養（培養液調製、単離、単藻・無菌培養）などの基礎技術を習得することを目的とする。また期間中に参加者全員の研究紹介と討論を行う。

定 員：約10名（希望者多数の場合、こちらで調整させていただくことがあります）。ただし、その他の方のオブザーバー、または飛び入り講師としての参加は歓迎します。場所：神戸大学内海域機能教育研究センター（旧理学部附属臨海実験所）

参加費：約1万円（宿泊費、食費・懇親会実費、教材費実費を含む）

申し込み：1997年1月10日までに下記の連絡先へ手紙、ファックス、電子メールのいずれかで申し込んでください。その際、氏名、住所、電話・ファックスか電子メールの連絡先、所属、学年、現在の研究テーマをお知らせください。内容などに関する電話での問い合わせは受けませんが、申し込みは上の方法でおねがいします。詳細は参加者確定後、1月20日頃までにこちらからご連絡します。

参加申し込み・問い合わせ先：〒656-24 津名郡淡路町岩屋2746 神戸大学内海域機能教育研究センター

川井浩史・神谷充伸 Phone: 0799-72-2999, 2374, Fax: 0799-72-2950, Email: kawai@icluna.kobe-u.ac.jp; mkamiya@icluna.kobe-u.ac.jp